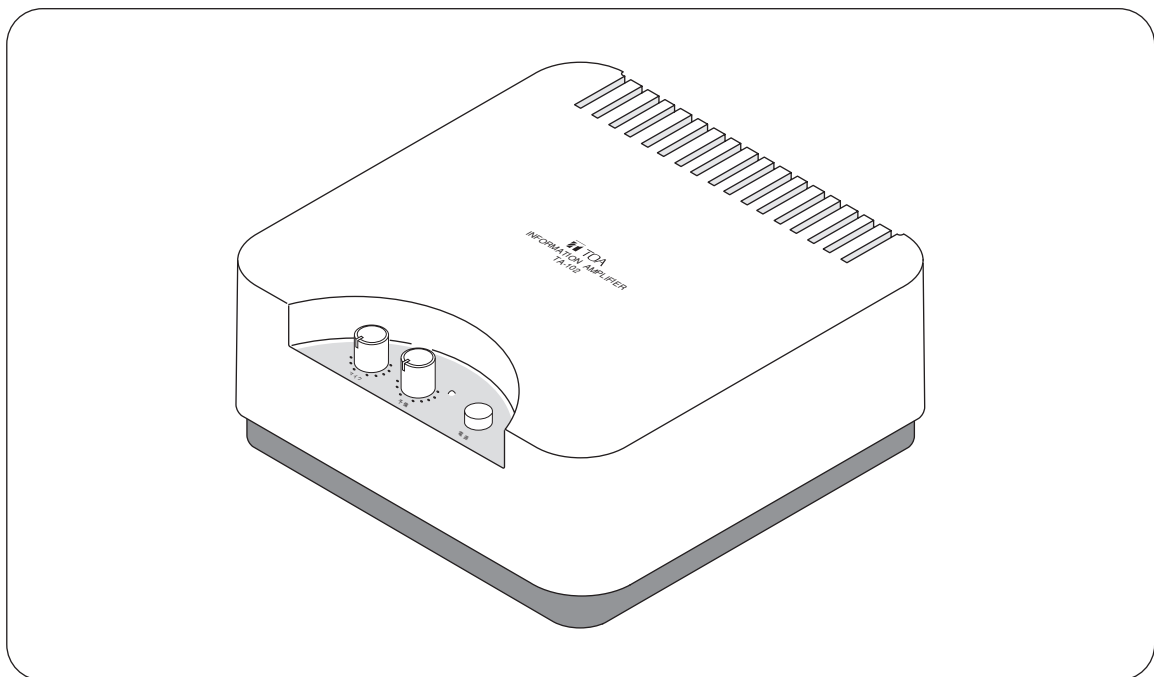


インフォメーションアンプ

TA-102



目次

安全上のご注意	2～4	接続のしかた	7
概要	5	操作のしかた	7～8
各部の名称とはたらき	5	仕様	8
設置のしかた	6		

このたびは、TOA インフォメーションアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますよう
お願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

■ 表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

■ 図記号について

注意を促す記号



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を強制する記号



電源プラグを抜く



警告

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

設置場所の強度を確認

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



注意



警告

設置・据付をするとき

スピーカ端子をさわらない

ハイインピーダンスラインのスピーカ端子には最大100Vの電圧がかかりますので、さわらないでください。
感電の原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



注意

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。



接触禁止



注意

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

注意

設置・据付をするとき

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気
のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

使用するとき

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

電源を入れる前には音量を最小に

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

定期的に内部の掃除を

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災の原因となることが
あります。



注意

電源プラグやコンセント部の掃除を

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となる
ことがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



注意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイ
ッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。



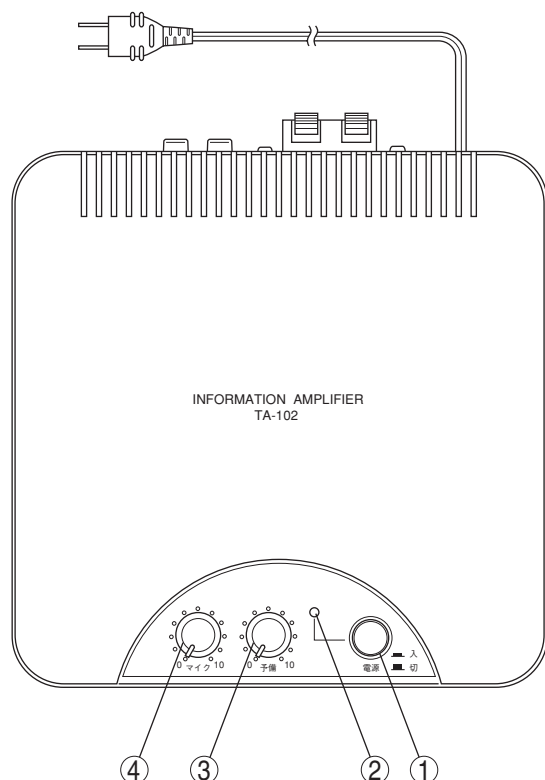
電源プラグ
を抜け

概要

本機は、各所の受付・待合室および喫茶店などの簡単な呼び出しに最適な 10W 出力のアンプです。別売のページングマイク PM-660D を使用すると、内蔵の 1 音チャイムを鳴らすことができます。

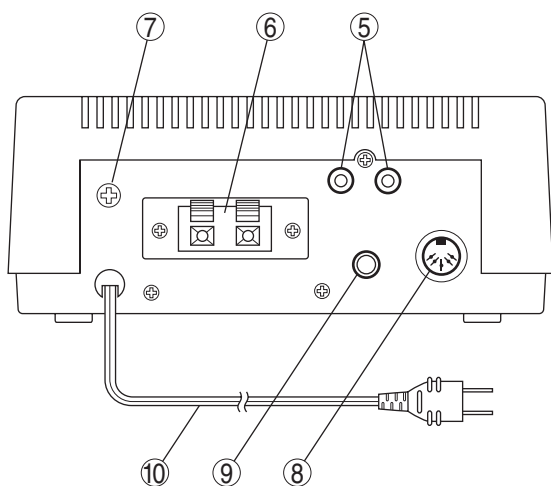
各部の名称とはたらき

[上 面]



- ① 電源スイッチ [電源]
電源を入り切りするときに押します。
- ② 電源表示灯
電源が入ると点灯し、切れると消灯します。
- ③ 予備入力音量調節つまみ [予備]
予備入力⑤に接続された機器の放送の音量を調節します。
- ④ マイク音量調節つまみ [マイク]
マイク入力⑧または⑨に接続されたマイクロホンの音量を調節します。

[後 面]

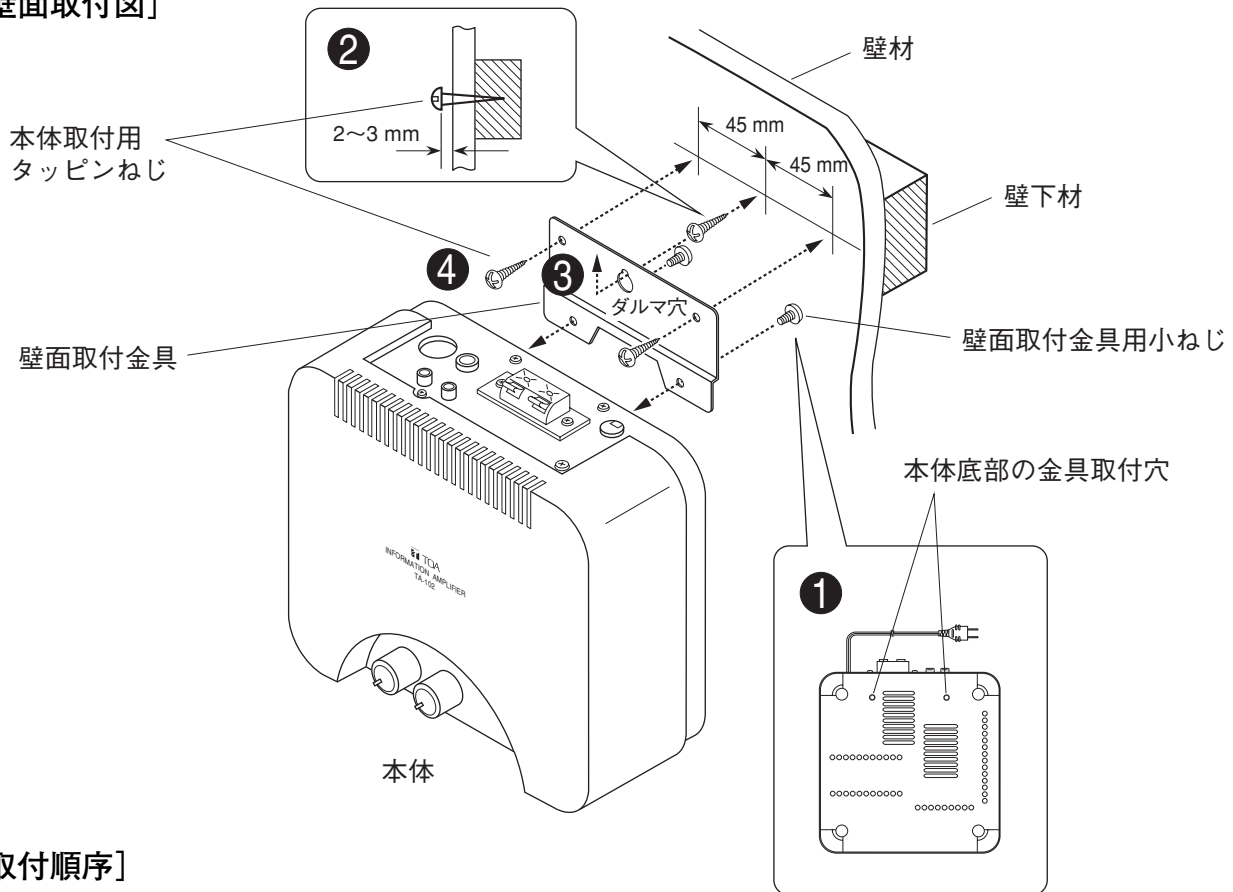


- ⑤ 予備入力ピンジャック [予備入力]
テープレコーダ、CDなどを接続します。
ステレオ入力はモノラルに変換されます。
- ⑥ スピーカ端子 [スピーカ出力]
ハイインピーダンスのスピーカを接続します。
- ⑦ 機能アース端子 [機能アース]
設置時に接地してください。
- ⑧ 専用マイクロホン DIN 端子 [マイク入力]
別売のページングマイク PM-660D を接続します。
- ⑨ 一般マイクロホン入力ジャック [マイク入力]
ローインピーダンスのマイクロホンを接続します。
- ⑩ 電源コード
AC100V 50/60Hz の電源コンセントに接続します。

設置のしかた

- AC100V 50/60Hzの電源を使用してください。
- 機能アース端子を接地してください。
- 湿気・ほこり・振動の多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のアたるような場所をさけて設置してください。
- 本体の底面と上面の放熱穴をふさがないように設置してください。
- 壁面に取り付けて使用する場合は、次の要領でしっかりと固定してください。

[壁面取付図]



[取付順序]

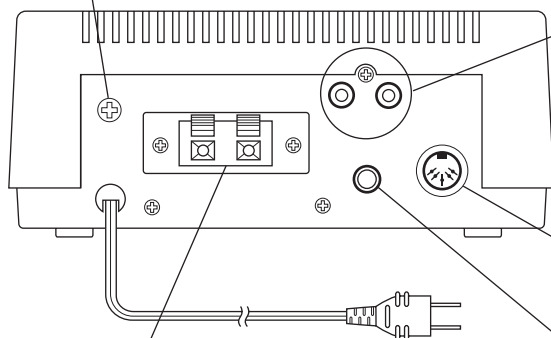
- 1 壁面取付金具を本体底面に取り付けます。
 - 取付ねじは、付属の小ねじ M4×8 (2本) を使用してください。
 - 壁面取付金具の向きが逆にならないように注意してください。
- 2 本体取付用タッピンねじ (中央ダルマ穴用) を壁に取り付けます。
 - マイクロホンケーブルや電源コードの長さを考慮して、取付位置を選んでください。
 - ねじを取り付ける位置には、ねじがしっかり止まる壁下材があることを確認してください。
 - タッピンねじは、2～3 mm 浮かせて取り付けます。
- 3 壁面取付金具 (本体に固定) のダルマ穴を壁に取り付けたタッピンねじに引っ掛けます。
- 4 壁面取付金具 (本体) を壁に固定します。
 - 本体が水平になるようにして、本体取付用タッピンねじ (2本) でしっかりと固定します。この時、2項のタッピンねじ (中央ダルマ穴用) も締め付けてください。

ご注意 ベニヤ板や石膏ボードなどに直接取り付ける場合は、付属のタッピンねじは使用できません。販売店にご相談ください。

接続のしかた

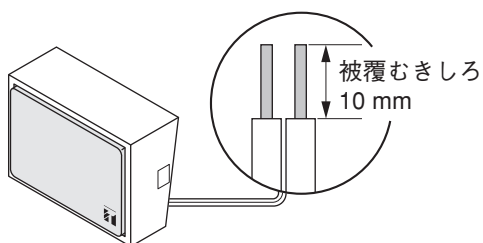
機能アース端子

- ・アース端子を接地してください。



スピーカ端子

- ・ハイインピーダンスのスピーカを接続します。スピーカ側は1 k Ω 以上の端子を選んでください。
- ・スピーカを複数個使用するときにはスピーカの極性を合わせ、合成インピーダンスが1 k Ω 以上になるようにしてください。
- ・スピーカケーブルは端子の奥までしっかり差し込んでください。



ご注意

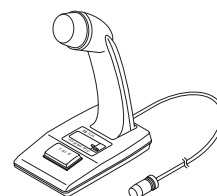
ローインピーダンスのスピーカは接続しないでください。本機の故障やスピーカ破壊の原因となります。

予備入力ピンジャック

- ・ラジオチューナ、カセットテーププレーヤ、CDプレーヤなどのラインアウト出力 (LINE OUT) を接続します。
- ・RCAピンプラグで接続します。
- ・ステレオ出力はモノラルに変換されます。

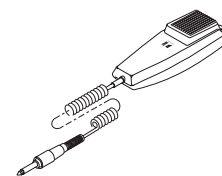
専用マイクロホンDIN端子

- ・別売のページングマイク PM -660D を接続します。
- ・5P DINプラグで接続します。



一般マイクロホン入力ジャック

- ・ローインピーダンスのマイクロホンを接続します。
- ・ホーンプラグで接続します。平衡型出力のマイクロホンは不平衡型に変換されます。



ご注意

- 一般マイクロホンと専用マイクロホンを同時に接続すると、一般マイクロホン入力が優先になります。
- 一般マイクロホン入力では、内蔵チャイムを起動することはできません。

操作のしかた

接続が終わったら、電源スイッチが「切」、各音量つまみが「0」の位置にあることを確かめてください。次に電源コードを電源コンセントに接続し、電源スイッチを「入」にしてください。電源表示灯が点灯します。

■ マイクロホンを使用するとき

- マイクロホンにトークスイッチがついているときはONにして、マイク音量つまみをゆっくり回して適当な音量になるように調節してください。

■ 予備入力を使用するとき

- 予備入力音量つまみをゆっくり回して適当な音量になるように調節してください。
(接続されている機器の出力レベルも調節してください。)

マイク放送をおこなうと、予備入力に接続された BGM などの放送の音量は自動的に下がり、マイク放送が終わると自動的に復旧します。

仕 様

電 源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	30 W
定 格 出 力	10 W
歪 率	3% (1 kHz 定格出力時)
周 波 数 特 性	200 Hz ~ 12 kHz +3 dB、-4 dB
入 力	マイク入力：600 Ω、-50 dB*、不平衡 ホーンジャック×1 または DIN ソケット (5P) × 1 (ホーンジャック優先) 予備入力：50 kΩ、-10 dB*、不平衡 RCA ピンジャック×2
出 力	ハイインピーダンス：1 k Ω、差し込み式端子台
S N 比	60 dB 以上
ミュート回路	マイク入力による予備入力の自動減衰、復旧動作 (減衰量 25 ~ 30 dB、復旧時間 4.5 s)
内蔵チャイム	1 音、330 Hz (PM-660D トークスイッチによりリモート起動)
使用温度範囲	-10 ~ +50°C
仕 上 げ	ケース：ABS 樹脂、オフホワイト (マンセル N9.0 近似色)
寸 法	180 (幅) × 71 (高さ) × 192 (奥行) mm
質 量	1.8 kg

* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

壁面取付金具	1
壁面取付金具用小ねじ	2
本体取付用タッピンねじ	3

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00359-00